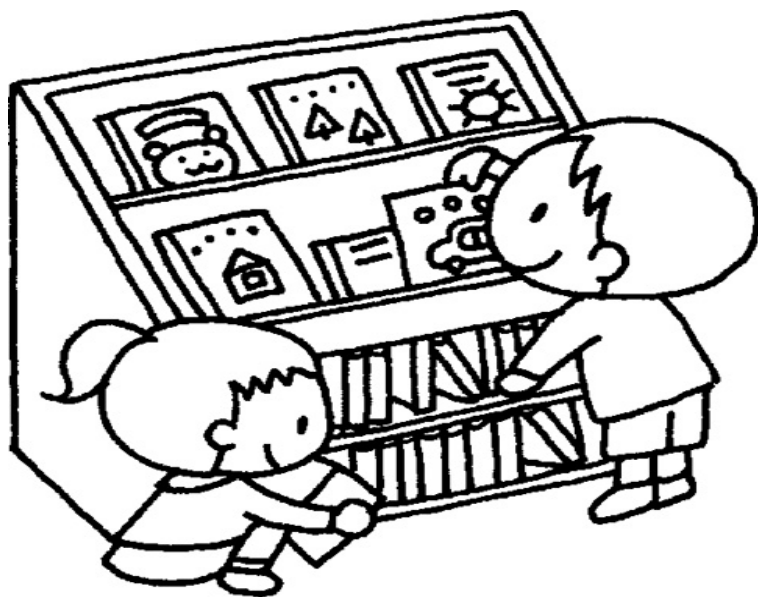


えほん おすすめ絵本



とよなかしりつ えん
豊中市立こども園では、ひとりひとりの子どもの育ちや興味を大切に

えほん えら じんけんきょういく ほいく
絵本を選び、人権教育・保育をすすめています。

さまざま えほん で あ こ せかい ひろ はっそうりょく そうぞうりょく はぐく
様々な絵本との出会いが子どもの世界を広げ、発想力や想像力を育み、

えほん よ
絵本を読んでもらうことで、コミュニケーションが深まります。

こ たち す えほん
このリーフレットでは、子ども達が好きな絵本を、ジャンル別に一部、

しょうかい
をご紹介します。

れいわ ねんと ねんと とよなかしりつ えん えほんけんとうぶかい はっこう
令和7年度(2025年度) 豊中市立こども園 絵本検討部会 発行

おと かん えほん 音のひびきを感じる絵本



「かんかんかん」

ぶん せいさく かわもと みゆき
文:のむら さやか 制作:川本 幸
しゃしん しおだ まさゆき
写真:塩田 正幸



「ふゆめがっしょうだん」

しゃしん とみなり ただお も き とおる
写真:富成 忠夫 茂木 透
ぶん ちよう しん た
文:長 新太

ここは不思議な踏切。『かんかん
かん』のリズミカルな音が聞こえて
くると、遮断機の向こうを様々な
列車が通ります。食べ物の列車、
自動車の列車…次は何の列車かな～
と子ども達がワクワクしながら
見て、列車が通る音を一緒に口ずさ
んでいますよ。

『みんなは みんなは きのめだよ』
と合唱団が歌います。春を待ちわび
るように『パッパッパッパッ』と
木の芽たちが個性的な顔で歌います。
「木の芽が帽子かぶってるー」
「いろんな顔があるね」と、
子ども達も木の芽にほっこり。
最後は子ども達も一緒に「パッパッ
パッパッ」と大合唱です。



た もの えほん 食べ物の絵本



「くだもの」

さく ひらやま かずこ
作:平山 和子

「ぐるぐるカレー」

さく や の
作:矢野 アケミ

絵の描写がとてもリアルで
きれいです。
子ども達は、知っているくだもの
を見つけると指をさして大喜び
です。
切ったり、皮をむいたり「どうぞ」
「ぱくっ」「もぐもぐ」と食べる
まねをしたりして、やりとりを
楽しんでいます。

子ども達に人気のカレーの絵本です。
まあるい形の中に、野菜を切って入れ
ていきます。「おうちといっしょ～」
「ブロッコリーいれへん」等、
口々に教えてくれます。
最後にぐるぐるとかき混ぜる時には、
子ども達も手をまわしながら
「ぐるぐる～」といっしょにつく
あ おおも
上がりです。



こくさい がいこく し えほん 国際(外国を知る)絵本



「^{せ かい}世界とであうえほん」

^え絵:てづか あけみ
^{ぶん}文・デザイン:^{むらた}村田 ひろこ

「^{くに}せかいでいちばんつよい国

^{さく}作:デビッド・マッキー
^{やく}訳:なかがわ ちひろ

^{せ かい}世界のいろいろな^{くに}国の人や、ことば、
あいさつだけでなく、^た食べ物や^{いしやう}衣装、
あそびやおまつりなどが、
カラフルな^え絵で^わ分かりやすく^{しょうかい}紹介
されています。

^み見ているだけで^{たの}楽しく、いろいろな
^{くに}国のことを^し知れて^い行った^{きぶん}気分
になれるかも。

^{たたか}戦う^{ぶ き}武器がなくても、^{へい わ}平和に^く暮ら
せるということ、^{つよ}強さは^{ぶりよく}武力だけで
はないこと、^{だいじ}大事にしているその
^{とち}土地の^く暮らしや^{ぶんか}文化についても
^{かん}感じさせられます。
^{つよ}強い^{くに}国、^{よわ}弱い^{くに}国、^{へい わ}平和とはどういう
ことなのだろうか等、^{など}子ども^{たち}達と
^{いっしょ}一緒に^{かんが}考えたくなる^{えほん}絵本です。

ものがたり かた つ えほん 物語(語り継がれている)絵本

「いないいないばあ」

^{ぶん}文:^{まつたに}松谷 ^こみよ子
^え絵:^{せがわ}瀬川 ^{やすお}康男



「ぐりとぐら」

^{さく}作:なかがわ りえこ
^え絵:おおむら ゆりこ

『いないいないばあ』のフレーズが
^く繰り返され、^{かえ}ねこやくま、^{ねずみ}や
きつねが^{かお}顔を出します。
^こ子ども^{たち}達は「にゃんにゃん」とねこ
の^{とうじやう}登場を^{よろこ}喜んだり、^{どうぶつ}動物が^{かお}顔を
出すタイミングで「ばあー!!」と
^{おな}同じように^い言ったりして^{たの}楽しんで
います。

『ぼくらのなまえはぐりとぐら ～
ぐりとぐらぐりとぐら』のフレーズを^{いっしょ}一緒に
^{くち}口ずさみ、^{おお}大きな^{たまご}卵の^{はっけん}発見やカステラ
^{つく}作りにワクワクしながら、^{えほん}絵本を
^{たの}楽しんでいる^こ子ども^{たち}達。ぐりとぐらに
なってお散歩に出かけたり、^{おほ}大きな^{たまご}卵を
^{さいげん}再現して^{あそ}つもりになって遊んだり、
クッキングで^{じっさい}実際に^{つく}作って^た食べるのを
^{たの}楽しむこともありますよ。



なぞと え おもしろ えほん 謎解き(絵の面白さ)絵本



「はじめてのおつかい」

さく つつい よりこ
作:筒井 頼子

え はやし あきこ
絵:林 明子

おつかいを頼まれたみいちゃん、ひとりでお店に行けて帰れるのかな!?
話だけでなく、絵の中に散りばめられた謎を解いてみてください。

★「みいちゃんの苗字」は、さて何でしょう?

★絵本の作者の筒井さん、絵を描いている林さんは絵本の中でお仕事を
しています。

何のお仕事でしょうか?

★電信柱の広告もおもしろいですよ。

絵をよ〜く見たら分かると思います。見つけられた時うれしくなるので、
ぜひ楽しんでみてください。

「きんぎょがにげた」

さく ごみ たろう
作:五味 太郎



金魚鉢にいた金魚が逃げました。

どこにいったのかな?

家のいろいろな場所に隠れている金魚を
見つけることが楽しい絵本です。

子どもたちはどこに隠れたのかわかって

いても「読んでー」と何度も持ってきて

自信たっぷりに「ここーっ」と指をさして
います。

五味さんならではの絵本の色彩が

より“見つけたいな”の気持ちにして

くれます。